

| | | | | | | |
|---------------------|---|--------------|-----------|------|-------|------------|
| 学科名 | 生物環境化学科・電気通信工学科・建築・デザイン学科・情報学科・経営ビジネス学科 | | | | | |
| 科目名 | 就職計画 SPI対策 Planning Your Future | | | | | |
| 科目区分 | 人間形成科目 | 単位数 | 1単位 | 開講時期 | 3年次前期 | |
| 必修・選択の別 | 選択科目（経営プランニングコース） 選択科目（地域マネジメントコース） 選択科目（スポーツマネジメントコース） | | | | | |
| 担当者 | アウトソーシング(合力朱実) (学内担当：日高 健) | | | | | |
| 授業の到達目標 (シラバスから) | <ul style="list-style-type: none"> ・就職試験の出題傾向などを予測できる。 ・漢字・熟語などの国語力、文章読解力を身につける。 ・基礎的な計算力および、図形、図表、グラフを通して思考力を身につける。 ・基礎的な政治・経済のしくみについての問題が解ける。 ・主要な国の地誌や貿易・農業・産業等の統計が読める。 ・基礎的な歴史の流れについての問題が解ける。 | | | | | |
| 日程と内容 | <p>第1回：導入講義：今後の授業内容について ・企業はなぜ筆記試験（SPI・常識）を行うのか</p> <p>第2回：言語能力、漢字・熟語の基礎・二語の関係</p> <p>第3回：導入演習① 演習問題に関する質疑応答</p> <p>第4回：言語能力、語句の意味・用法・類義語と対照語</p> <p>第5回：言語能力、適語挿入・熟語の構成・文の並び替え</p> <p>第6回：言語能力、長文読解</p> <p>第7回：確認演習②SPI対策演習問題に関する質疑応答</p> <p>第8回：非言語能力、分数計算の基礎・割合の計算</p> <p>第9回：非言語能力、仕事算、水槽算</p> <p>第10回：非言語能力、濃度・密度</p> <p>第11回：非言語能力、損益計算・料金割引・清算問題</p> <p>第12回：非言語能力、整数問題・表の読み取り問題</p> <p>第13回：非言語能力、速さと比例・反比例・流水算・旅人算</p> <p>第14回：非言語能力、集合・場合の数・順列と組み合わせ</p> <p>第15回：定期試験</p> <p>第16回：非言語能力、確率・推論・資料解釈 総まとめ演習</p> | | | | | |
| 成績評価基準 | 定期試験 | 70% | 実技 | | | |
| | 臨時試験 | | 部外評価 | | | |
| | 報告書・レポート | 30% | プレゼンテーション | | | |
| | 課題 | | 計 | 100% | | |
| | 演習 | | | | | |
| 授業到達目標の達成度 | 採用時期等の変化により、講座初期は就職活動に対する意識の低さを感じられたが、採用状況等の随時新しい情報を提供することによって、回を重ねる毎に意識の高まりを感じた。SPI試験を中心に、常識試験、新傾向問題など実際に企業で採用されている試験に準じた多くの実践問題に徹底的に取り組んだ。就職試験の出題傾向、基礎学力、解法のポイントについて受講生全員が習得できたと確信している。また、毎回時事に触れることにより、社会への関心も高まったと思う。内容の理解度に関してはアンケートで高い評価をいただけており、どの項目も目標を | | | | | |
| 反省点 | 昨年同様履修者数が多かったため、到達度の違いにどう対応するかが大きな課題であった。昨年度の反省をふまえて到達度の高い受講生にも対応するよう応用問題にも取り組んだ。到達度の低い受講生に対しては基本問題に取り組むよう指導したが、一人ひとりがどこまで理解できているのかをチェックするまでには至らなかった。敢えて授業中に個人的に質問できる時間を取ってもよかったのではないかと考えている。就職活動は一人ひとり違うものである。それに対する幅広い対応を目指したいと考えている。 | | | | | |
| 来年度の計画 | 本年度同様に受講生全員の筆記試験クリアを目標に講座をすすめていきたいと思う。頻出問題を中心に多くの実践問題を取り入れることで、SPI試験で要求される正確さ、速さに対応できる実践力を養いたい。また、社会に出てから役立つような基礎力も養いたいと思う。達成度の格差には柔軟な形で対応したい。また、めまぐるしく変化する採用状況、新傾向問題などの最新の情報も提供したいと思う。筆記試験は各自の取り組みが不可欠である。受講生の意識を高められるような魅力ある講座にしたいと考えている。 | | | | | |
| 授業評価アンケートに対するコメント | 昨年同様、高い評価をいただき大変嬉しく思います。受講生一人ひとりの要望に応えられるようさらに充実した講座にまだまだできるのではと思っています。採用時期の変更など安定しない状況が続いていますが、どんな状況であっても、受講生の方々が本番で力を発揮されると信じています。また、学んだことは実社会でも役に立つスキルです。本講座で学んだことを活かし、就職活動の場、また実社会で活躍されることを心から願っています。 | | | | | |
| 履修登録者数 | 154名 | 定期試験 受験者数 | 136名 | 合格者数 | 132名 | 合格率 97% |